

内職・副業
授産事業・授産施設
方面委員(方面事業)・委員制度(上)

日清・日露戦争期から第二次世界大戦の終結まで、
極度の貧困状態や先行きの見えない失業問題にあ
えぐ人々を救済すべく全国各地で立案・実施され
た社会事業の実像に迫る基礎資料を集成!

本シリーズは、明治から大正・昭和の戦前・戦中にかけての時期に、そこで営まれた人々の生活と社会の中で誕生し、展開された社会事業・社会福祉（その発端である慈善・救済を含む）にかかわる事象について、実態資料によって跡づけようとする試みである。

第8期の収録対象としたのは、①内職・副業、②授産事業・授産施設、③方面委員（方面事業）・委員制度（1931年まで）、に關係する資料である。収録対象としなかったものも含む関連資料リストも完備し、第一人者による解説とともに、現在の社会福祉活動をルーツに遡って検証することを可能にするための、多角的な配慮がなされている。

わが国の社会事業制度形成の歩みを通覧し、今日の問題の歴史的淵源を明らかにするために必読・必備の基礎資料集成である。

企画・監修 寺脇隆夫（元長野大学・浦和大学教授）
編者 黒川京子（日本社会事業大学講師）
庄司拓也（淑徳大学非常勤講師）
体裁 B5判上製・4368頁・全10巻
定価 揃定価308,000円(税込) ※分売不可
ISBN978-4-7601-5395-4

〈本資料集の特長〉

- ・戦前期に作成された重要な基本資料を精選復刻。本シリーズにより、わが国の社会事業・社会福祉制度史の歩みが一望できる。
- ・わが国社会事業史・社会福祉史における幅広い分野の基礎資料を半年ごとに順次刊行。戦前期の日本社会全般の研究に活用可能な資料集として、新たなスタンダードとなる。
- ・各種調査資料や入手困難な文献資料も多数収録。幅広い研究に活用できる歴史文献データベースとして研究室必備の資料集。
- ・今後の研究の道標となるように、それぞれの分野の専門家による的確な資料解説を付した。

取扱店

おすすめします
社会福祉学研究者 行政学研究者
社会政策学研究者 日本社会史研究者
生活問題研究者 大学図書館・公共図書館
法学研究者
〒113-0033 東京都文京区本郷 2-15-13
Tel.03-3830-1891 Fax.03-3830-5337
URL http://www.kashiwashobo.co.jp
E-mail eigyo@kashiwashobo.co.jp

現在の社会福祉は、近代日本で「慈善事業」・「救済事業」と呼ばれた明治期から、大正～昭和期に発展・拡大した「社会事業」のあゆみとその営みに基盤がある。

日露戦争（1904～05）、米騒動（1918）などを契機に、急速な近代化への波が押し寄せ、人々の生活は新たな貧困や苦難にさらされる。しかし、それらに対処する行政施策や政策は不十分であった。そうしたなか、各分野で民間のさまざまな事業（施設・団体）が登場し、その活動が展開される。わずかながら行政、法制度にも変化がもたらされていく。こうして「社会事業」と呼ばれる営みが形成されていったのである。

だが、盧溝橋事件（1937）により日中戦争が本格化し、軍国主義化の波のなかで、社会事業は「厚生事業」へと変質し、太平洋戦争（1941）によって崩壊してしまう。しかし、第二次大戦後の社会事業の急速な復活・拡大は、新憲法による民主主義体制への変化も影響したが、戦前からの社会事業の基盤があってこそ可能になった。こうして、それらは「社会福祉」と呼ばれるようになったのであり、そうした歴史に学ぶものは数多いと考える。

本シリーズは、「社会事業」の登場から形成・発展にかかわる歴史を、当時（前史期含め50～60年程度）の社会事業の各分野・領域ごとに、それらのさまざまな実態を記録した基礎資料そのものによって物語ろうとするものである。文字通り、実証的な研究に役立つ資料集としたいと思っている。

特徴的なのは、以下の全体構想(案)に示すように100余に及ぶ分野・領域ごとに細区分し、詳細にその実態を見ることが出来るようにしたことである。そのため、刊行に長期的な期間を要する企画となった。

収録の対象としたのは、当時の社会事業に含まれる数多くの分野・領域での、①戦前期の社会事業体制にかかわる政策・行政、法制、②それらの事業（施設・団体）の活動や利用状況、③それらの背景となった人々の営みや生活実態など、を物語る基礎資料・文献である。

本シリーズは半年ごとに1期ずつ刊行するが、シリーズにとくに順番はなく、1期分は概ね2～4分野・領域の組み合わせとなる。各分野・領域ごとに資料リスト・資料・解説を添付するが、「資料リスト」は、非収録分を含めたものを多数掲載し、「資料」は発刊当時の形態のまま出来るだけ数多く掲載することにした。編者は、社会事業史研究のベテランから若手までの専門家40人余に委嘱し、その執筆になる「解説」で当該分野の流れや資料の位置づけを行なってもらった。

戦前日本の社会事業・社会福祉資料 刊行計画

- 第1期 保育・託児(常設) 子守学校/工場鉱山の保育 棄児・児童虐待【刊行済】
- 第2期 児童の生活状態 浮浪・家出・自殺/私生子 農繁期託児 障害児・障害児施設(上)【刊行済】
- 第3期 児童保護事業 児童相談 児童遊園・児童公園 障害児・障害児施設(下)【刊行済】
- 第4期 浮浪者・ルンペン・乞食 木賃宿・公的宿泊所 物価騰貴・米騒動/経済保護 公設市場 公益質屋 簡易食堂/公設浴場【刊行済】
- 第5期 住宅問題 住宅対策 隣保事業・セツルメント事業【刊行済】
- 第6期 農村社会事業 人身売買/芸娼妓酌婦紹介業 芸娼妓・酌婦/遊廓・花街 廃娼問題/婦人救済施設【刊行済】
- 第7期 女工 職業婦人 朝鮮人(内地居住)【刊行済】
- 第8期 内職・副業 授産事業・授産施設 方面委員(方面事業)・委員制度(上)【2021年6月刊行】
- 第9期 方面委員(方面事業)・委員制度(下) 年金制度(養老年金・厚生年金)【2021年12月刊行予定】
- 第10期 職業紹介所・職業紹介法 母子保護(母子寮)・父子ホーム【2022年6月刊行予定】

本シリーズの収録内容

貧困・困窮者(救済・救護・保護/救護法) 浮浪者・ルンペン・乞食・行路病者【第4期】 木賃宿・公的宿泊所(無料・共同・簡易)【第4期】 紙屑拾い・パタヤ/残飯・残食物【第4期】 水上(海上)生活者/水上児童 貧民窟・スラム・不良住宅地区 不良住宅地区改良事業・改良後の生活状況 住宅困窮・住宅難(家賃問題)【第5期】 公営住宅/同潤会住宅【第5期】 生計・家計状態 救療/軽費・実費診療/済生会 災害救助(震災・津波・大火)/罹災救助基金法 農業凶作・飢饉 産業災害・鉱工業災害/戦争災害 軍事救護/傷病者・遺家族援護/軍事救護法 軍事徴用・労働動員 職業紹介事業/職業補導(職業紹介法) 失業者・失業問題全般 自由労働者(日雇・日稼ぎ・立ちん坊) 女工・職業婦人【第7期】 婦人労働・戦時婦人徴用・統後女子勤労要員 物価騰貴・米騒動/経済保護事業全般【第4期】 公設市場【第4期】 質屋・公益質屋・無産者金融【第4期】 簡易食堂/公設浴場【第4期】

内職【第8期】 授産事業・授産施設【第8期】 隣保事業・セツルメント事業【第5期】 農村社会事業(山村・漁村含む)【第6期】 乳児死亡/出生・死亡状況 妊娠婦・乳幼児保健(母子保健) 乳児保護・乳幼児保護 児童の生活状態【第2期】 浮浪・家出・自殺/私生子【第2期】 児童保護事業【第3期】 児童相談【第3期】 児童遊園・児童公園【第3期】 欠食・栄養不良/給食・栄養補給 病虚弱児・病虚弱児対策 障害児・障害児施設(上)【第2期】 障害児・障害児施設(下)【第3期】 保育・託児(常設)【第1期】 子守学校/工場鉱山の保育【第1期】 農繁期託児【第2期】 棄児・児童虐待【第1期】 児童養育・育児施設(育児院・孤児院) 昼夜乳児保育(乳児院) 里子・里親/家庭養育委託 貧児教育/不就学問題/就学奨励 児童(幼少年)労働・就業状態

小卒児童の進路・就職状況 少年職業紹介・就職後指導 不良児童・非行少年問題一般 感化院・少年教護院/感化事業 少年院・少年審判所/保護少年 幼年監獄・少年受刑者 母子保護/母子・父子ホーム 母子扶助/母子保護法 女中・家政婦/子守 人身売買/芸娼妓酌婦紹介業【第6期】 芸娼妓・酌婦/公娼・私娼/遊廓・花街【第6期】 廃娼問題/婦人救済施設【第6期】 女給・ホステス 養老事業・養老院/浴風会 盲・不具廃疾・精神薄弱(障害者)/啓成社 精神病者・同療養所 癩病(ハンセン氏病)者・同療養所 結核患者・同療養所 花柳病・性病/同対策 麻薬など薬物中毒者 出獄人・免囚保護/司法保護事業 アイヌ(旧土人保護法) 移民 朝鮮人(内地居住)【第7期】 恩給・年金制度(養老・厚生)

失業保険 健康保険・国民健康保険 労災保険 社会事業一般・名鑑/全国 社会事業一般・名鑑/地域 社会事業要覧・概要/全国 社会事業要覧・概要/北海道・東北 社会事業要覧・概要/関東・東京 社会事業要覧・概要/中部・東海 社会事業要覧・概要/近畿・関西 社会事業要覧・概要/中国・四国 社会事業要覧・概要/九州・沖縄 都市社会事業・都市社会行政 社会事業統計・統計関係 社会事業行財政/社会事業法 社会事業(施設)の奨励助成 方面委員(方面事業)・委員制度【第8期】 社会事業施設の連絡団体/社会事業協会 社会事業施設の沿革・年表/視察報告 社会事業施設の私営・公私問題 社会事業施設の経営/寄附/共同募金 社会事業施設の入所利用者・処遇 社会事業施設の従事者・職員/功労者 その他(総合・全般) 戦時体制と社会事業の変容

※太字は刊行済、赤字は今期分です。収録対象の呼称は、主に当時の呼称を用いました。刊行時の表題は変更となる場合がございます。

